

インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年9月1日 聖日礼拝

使徒の働き連講(14)

「御名のための

はずかしめ」

使徒の働き5章34節-42節

竿代照夫牧師



聖書朗読

(新約聖書)

使徒の働き5章34-42節

第二版の聖書はP217～ / 第三版の聖書はP237～

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

34 ところが、すべての人に尊敬されている律法学者で、ガマリエルというパリサイ人が議会の中に立ち、使徒たちをしばらく外に出させるように命じた。

35 それから、議員たちに向かってこう言った。「イスラエルの皆さん。この人々をどう扱うか、よく気をつけてください。

36 というのは、先ごろチウダが立ち上がって、自分を何か偉い者のように言い、彼に従った男の数が四百人ほどありましたが、結局、彼は殺され、従った者はみな散らされて、あとかたもなくなりました。

37 その後、人口調査のとき、ガリラヤ人ユダが立ち上がり、民衆をそそのかして反乱を起こしましたが、自分は滅び、従った者たちもみな散らされてしまいました。

38 そこで今、あなたがたに申したいのです。あの人たちから手を引き、放っておきなさい。もし、その計画や行動が人から出たものならば、自滅してしまうでしょう。

39 しかし、もし神から出たものならば、
あなたがたには彼らを滅ぼすことはでき
ないでしょう。もしかすれば、あなたが
たは神に敵対する者になってしまいま
す。」彼らは彼に説得され、
40 使徒たちを呼んで、彼らをむちで打ち、
イエスの名によって語ってはならないと
言い渡したうえで釈放した。

41 そこで、使徒たちは、御名のためには
ずかしめられるに値する者とされたこと
を喜びながら、議会から出て行った。

42 そして、毎日、宮や家々で教え、イエ
スがキリストであることを宣べ伝え続け
た。

説教

使徒の働き連講(14)

「御名のための

はずかしめ」

使徒の働き5章34節-42節

竿代照夫牧師

主テキスト

「使徒たちは、御名のためにはずかしめられるに値する者とされたことを喜びながら、議会から出て行った。」 (5:41)

はじめに（復習）

：アナニヤ事件（5：1－11）に見る
神の厳しさと慈しみ

1. 教会の進展（12－16節）

- ・使徒たちによる多くの奇跡
- ・信者の増加（エルサレムと
郊外から）

2. 使徒達の再逮捕と審問

(17-33節)

- ・ 議会による使徒たちの再逮捕
- ・ 使徒たちの奇跡的な解放
- ・ 議会関係者による再々逮捕
- ・ 議会による審問
- ・ 使徒たちの毅然たる応答
： 「人に従うより、
神に従うべきです。」

3. ガマリエルの理性的忠告

(34-40節)

- ・ 議会におけるパリサイ派
- ・ ガマリエルの人柄
 - ： ヒルレルの孫、律法学者の
最高峰、サウロの師
- ・ ガマリエルの理性的忠告
 - ： 「神の摂理に任せよ」

3. ガマリエルの理性的忠告

(34-40節)

- ・ ガマリエルの柔軟さの理由
 - ： キリスト者への理解と尊敬
- ・ 使徒たちの再釈放

4. 弟子たちの積極的受け留め

(41-42節)

- ・使徒たちの受けたはずかしめ

：鞭打ち刑

- ・それは「御名のため」

- ・神の信頼を喜ぶ

：試練は、神の信頼の証拠

(1コリント10:13)

4. 弟子たちの積極的受け留め (41-42)

・キリストの苦しみに与る

：「あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる火の試練を、何か思いがけないことが起こったかのように驚き怪しむことなく、むしろ、キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。もしキリストの名のために非難を受けるなら、あなたがたは幸いです。なぜなら、栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。」

(1ペテロ4:12-14)

・積極果敢な宣教を続ける

おわりに：

「御名のためのはずかしめ」を
積極的に捉えよう。